

●月×日▲曜日

まん丸お月さんが顔を出す頃
イタズラな風 窓叩く音
ひたすら思い詰め腹が立つのよ
あなたのメシア私のはずなのに
あなうらめしや 愛されるためした事も
悉く また裏目みたい
日の目を見ない穴倉生活
真っ暗な部屋で枕涙で浸して泣く

「私とても暇してます」

溢れた涙も掬えない
この手じゃ明日もあなたを救えない
手をこまねいている内に
あなたあの子招いても見て見ぬふりし
だけど胸中 はやす焦りで
心ない言の葉 また裏目に出る

夜な夜な泣き腫らす臉はまるで
お岩化けて現れる四谷の幽霊
あなたの顔が毎晩通り日記に認めるうらめしや
日は昇り開き直るその様まるで
戸板返し現れる 裏の救世主
嵐来る大安の日に一揆を企てる裏メシア

●月■日！曜日

日は昇り蜂起の支度するモーニング
私の栄華描いたキャンバス上に
あなた色満たすためいざ参ろう

轟々風が鳴る あの戦場
お化粧の派手な赤で扇状
手帳の中の妄想も目前のロケーション
後世を記した預言書でしょう？

蔑称の「うらめし屋」今日で返上よ
詠唱するハレルヤ
高らかに響け あなたの為
手放して 世話焼きしちゃ やたらこまめ (GO MY WAY)
あなたの愛の理想郷は この私の隣よきっと、そう
そう念じ 現実に盲目なせいで
度を越した想いがまた裏目にでる

夜な夜な泣き腫らす臉はまるで
お岩化けて現れる四谷の幽霊
あなたの顔が毎晩通り日記に認めるうらめしや
日は昇り開き直るその様まるで
戸板返し現れる 裏の救世主

嵐来る大安の日に一揆を企てる裏メシア